鋼材落下
下敷き、死亡

玉掛け・荷締め・荷ほどき・・・
レバーブロック、ワイヤーの扱いに注意しましょう

「吊り下」には
絶対、絶対・・・・・入らないこと
『逃げ場』の確保

鋼材落下事故
下敷き、作業員死亡

鋼材の上にいた男性は、転落して足を骨折
水力発電所の建設現場

2024年3月14日

13日午後3時45分ごろ、岐阜県の水力発電所建設工事現場で、掘削穴の中にある重さ1.8トンの鋼材が２メートル落下し、下で作業していた建設作業員の男性（56）が下敷きになりました。

男性は病院に搬送されましたが、約１時間後に死亡しました。

鋼材の上にいた50代の男性作業員は転落して足を骨折したもようです。

警察によると、男性らは深さ20メートルの穴の下で掘削作業をしていました。

鋼材は長さ９メートルの「Ｈ鋼」と呼ばれるもので、穴の補強をするため、鋼材を複数本使ってはしご状に組み立てていたところ、横向きにしてボルトで固定しようとしていた１本が、何らかの原因で落下しました。